

ラーゴブルーの24

全400口 | 1口出資額95,000円(税込) | 総額3,800万円(税込) セレクトセール2024購買馬

生産牧場 ノーザンファーム 育成牧場 ノーザンファーム(予定)



母の栄光を超えるなら世界規模、新鋭の父の能力を大舞台で見せつける

現時点における馬体の特徴と適性

G2フローラS、G2ローズSに勝ち、G1ジャパンC、G1宝塚記念とともに2着したデニムアンドルビーの半妹になる母。自身もJPN3マリンCを制した重賞馬です。本馬は父に、米G1ペンシルヴァニアダービー馬で、G1ケンタッキーダービー、G1ドバイワールドCでいずれも2着した気鋭の若手種牡馬ホットロッドチャーリーを得て誕生。新たな時代を切り拓いていく母の第4仔となります。柔軟性とパワーを兼ね備えた首差し、ほどよい厚さと深みを有する胸前、腰にかけてのラインが美しい背中、十分な容量を持つトモ、伸びやかな胴、気になる点がどこにもない前肢、可動域の大きい後肢といったパーツからなる馬体は、体幹の強さがセールスポイントとなっています。身のこなしに切れ味があり、気性が活発であることも強調すべき長所。早い時期から、芝マイル戦線を沸き立たせる走りを披露してくれるはず。早い時期から、芝マイル戦線を沸き立たせる走りを披露してくれるはずです。



ホットロッドチャーリー
●米国の頂点の舞台で活躍、2023年よりスタッドイン

斉藤崇史調教師コメント

脚長でスラッとしていて体高もあり、あとは成長して幅が出てきたらいいですね。脚捌きもスムーズで随所に力感を感じさせ、いい動きをしています。父の映像を見る限り、ごつごつしたアメリカ馬ではないので、本馬の馬体からも芝はこなせる下地があるでしょう。距離はある程度あった方がいいイメージです。一頭一頭を大事に故障なく、長く活躍させてあげることが厩舎のテーマ。様々な経験を積んできましたので、本馬にもその学びを活かして、大きなレースで勝てるように頑張ります。



血統関連馬 ラーゴブルー

オックスボウ	Awesome Again	Primal Force
Oxbow		
鹿 2010	ティスマメイジング	Cee's Tizzy
*ホットロッドチャーリー	Tizamazing	Cee's Song
Hot Rod Charlie		
黒鹿 2018	インディアンチャーリー	In Excess
インディアンミス	Indian Charlie	Soviet Sojourn
Indian Miss		
鹿 2009	グラッケンズギャル	Smoke Glacken
	Glacken's Gal	Lady Diplomat
	*サンデーサイレンス	Halo
ラーゴブルー	Sunday Silence	Wishing Well
Heart's Cry		
鹿 2001	アイリッシュダンス	*トニービン
	Irish Dance	*ビューバダンス
Lago Blu		
栗 2014	キングカメハメハ	Kingmambo
	King Kamehameha	*マンファス
ベネンシアドール		
Venenciador		
鹿 2006	*フェアリードール	Nureyev
	Fairy Doll	Dream Deal



管理予定調教師

斉藤崇史調教師(栗東)

生年月日◆1982年8月29日 ◆2016年開業(10年目) ◆JRA通算272勝/JRA重賞23勝

【主な管理馬】

- クロノジェネシス:有馬記念(G1)、宝塚記念(G1)2回 ●ジェラルディーナ:エリザベス女王杯(G1) ●ラウダシオン:NHKマイルC(G1)
- クロワデュノール:ホープフルS(G1)、東スポ杯2歳S(G2) ●キラアピリティ:ホープフルS(G1)
- ノーヴァレンダ:全日本2歳優駿(Jpn1) ●ドンフランキー:東京盃(Jpn2) ●ステラリア:福島牝馬S(G3)、エリザベス女王杯(G1)2着
- ヤマニウス:プロキオンS(G3) ●ラクリスティヌ:京都牝馬S(G3) ●ヒンドウタイムズ:小倉大賞典(G3)
- ラーゴム:きさらぎ賞(G3) ※成績は2025年4月27日現在



ファミリー(母系)

母の父 **ハーツクライ**は千歳産、最優秀古牡馬、中央・UAE 5勝、ドバイシーマクラシック-G1、有馬記念-JPN1。主な産駒ドウデュース(ダービー-G1)。**【B M S:主な産駒】**エプフォーリア(皐月賞-G1、有馬記念-G1)、ミュージアムマイル(皐月賞-G1)、アドマイヤズーム(朝日杯フューチャリティS-G1)、コスタノヴァ(フェブラリーS-G1)、タガロア(MR CブルーダイヤモンドS-G1)

母 **ラーゴブルー**(14 ハーツクライ)入着、南関東公9勝、マリンC-JPN3(D1600m)、東京シンデレラマイル(D1600m)、しらさぎ賞(D1400m)、J B Cレディクラシック-JPN1 4着。産駒
オコタンペ(21 牡 栗 *ニューイヤーズデイ) 2勝、[Ⓞ]
エビファランド(22 牝 栗 エビファネア)入着、[Ⓞ]
レッドプレーザー(23 牡 栗 *ドレフォン)未出走

祖母 **ベネンシアドール**(06 キングカメハメハ)不出走。産駒
デニムアンドルビー(牝 ディープインパクト) 3勝、フローラS-G2、ローズS-G2、ジャパンC-G1 2着、宝塚記念-G1 2着、同5着、阪神大賞典-G2 2着、チャレンジC-G3 2着、オークス-G1 3着、秋華賞-G1 4着、エリザベス女王杯-G1 5着、中山牝馬S-G3 5着

キタノコマンドール(牡 ディープインパクト) 2勝、すみれS-L、皐月賞-G1 5着。種牡馬
ダノンギャラクシー(牡 ディープインパクト) 3勝、本栖湖特別
ヤマノフェアリー(牝 ディープインパクト) 2勝、春菜賞。産駒
ナル(牝 *ノヴェリスト) 2戦。産駒
ワンブランチ(牝 *ハービンジャー) 3勝、かもめ島特別、恵山特別
グロリアーナ(牝 ハーツクライ) 2勝。産駒
ヴァルキリーバース(牝 エビファネア) 2勝、フリージア賞、フローラS-G2 2着、[Ⓞ]

曾祖母 *フェアリードール Fairy Doll(91 Nureyev)米国産、英1戦。**トゥザヴィクトリー**(最優秀古牡馬、エリザベス女王杯-JPN1)、**サイレントティール**(武蔵野S-G3、シンザン記念-JPN3)、**ビーボジティブ**(クイーン賞-JPN3)の母、**トゥザグローリー**(日経新春杯-G2)、**トゥザワールド**(弥生賞-G2)、**トーセンビクトリー**(中山牝馬S-G3)、**フェアリーホルカ**(中山牝馬S-G3)、**オウケンビリーヴ**(クラスターC-JPN3)の祖母

配合診断

ダート中距離で牡馬を蹴散らすイメージ、女王に君臨すれば長期政権も夢ではない成長力

母ラーゴブルーは船橋の交流重賞マリンC(Jpn3・ダ1600m)を勝ちました。本馬はデニムアンドルビー(フローラS、ローズS)の姪にあたり、半兄オコタンペは現在2勝。3代母フェアリードールを起点とするファミリーは、トゥザヴィクトリーをはじめ多くの活躍馬を出し、一大牝系を築き上げています。父ホットロッドチャーリーはアメリカで走り、ケンタッキーダービー(米G1・ダ10F)、ドバイワールドC(米G1・ダ10F)でいずれも2着となった一流馬。産駒はダ1800m向きが多くなりそうです。本馬と同じくDeputy Minister系の父系とフェアリードール牝系の組み合わせとえば、クラスターC(Jpn3・ダ1200m)を勝ったオウケンビリーヴ、ジャパングレートダービー(Jpn1・ダ2000m)2着馬トリップが出ています。成長力に富むダート中距離馬でしょう。